



広報 やまと

静かに積もるその先で

Contents 主な話題

矢部高校	2
山の都人口ビジョン・山の都総合戦略【要約版】	6
成人式	8～9
まちの話題	20～21
すくすく育て	24～25
山都町光情報通信基盤整備事業スタート	26

1月25日、週末に降りつづけた雪で町内は真っ白に。雪に足を取られながら歩いた先でどんな日にも休むことなく流れ続ける五老ヶ滝がありました。

本町の北西に陸上自衛隊北熊本駐屯地が管理する大矢野原演習場があります。面積は16.34km²、嘉島町(16.65km²)とほぼ同じ面積です。演習場では広さがあります。演習場では有事に備えた各種訓練が年間300回以上実施され、演習参加人員は延べ10万人に上ります。訓練内容は、演習場にある各射場での実弾射撃訓練、手榴弾投てき訓練、化学火工品を使用した訓練、ヘリ訓練及び日米共同訓練等です。

自衛隊の役割は、日本の平和と独立を守るために、外国に侵略する気持を起させないよう備えることとされています。また、万一侵略された場合は、国民の生命・財産を守り、我が国の安全保障を担う役割があります。さらに東日本大震災でも多方面で活動があったとおり、災害派遣も重要な任務です。災害派遣においては、災害復旧に携わる隊員の食事・身の回りの事など全てのことが派遣部隊の中で完結します。このことは過酷な条件を想定しての訓練があつて初めて可能になると思います。

演習場周辺の住民の方々は、国防や自衛隊訓練について一定の理解を示されていますが、ヘリコプター離着陸時や射撃訓練による騒音、自衛隊車両走行に伴う粉塵など生活に支障となる場合があります。このため地元で組織する大矢野原演習場周辺対策期成会を通して演習場管理部と対応を協議されています。その上で、防衛省所管の補助事業である障害防止事業、民生安定事業、調整交付金事業によって課題を解決するべく、各事業を町で計画的に取り組んでいるところ。懸案事項も少なからずありますが、いずれにしても自衛隊と地域住民の方々の相互理解による信頼関係の構築が何よりも必要ですので、日頃からの対話が不可欠であると思います。現在、演習場管理事務所と地域の方々には良好な関係が築かれていますので、今後も建設的な立場から率直な意見交換が行われることを期待しています。



熊本県立矢部高等学校

〒861-3515 上益城郡山都町城平 954 番地
tel: 0967-72-0024 fax: 0967-73-1030

☆本年度、本校で**公務員試験**や**就職試験**に合格した生徒の合格体験記を紹介します。



普通科3年
荒木 雅彦 君

「感謝」

私は上益城消防に合格をいただくことができました。公務員を目指し、課外や模試、作文練習、面接練習などでたくさんの先生方にご指導をいただき、試験まで色々な方々に支えてもらいました。私が現役で合格できたのは、先生方や両親のおかげです。これからも日々支えてくださっている方々に感謝し、1日1日を大切にしていきたいと思います。



食農科学科3年
白鷹 京花 さん

「夢の実現」

私は、幼いころからお菓子作りが好きで、将来は食品製造業に就きたいと思っていました。また、食農科学科での販売活動を通して、人と接する仕事がしたいという思いが強くなりました。また、生活園芸部では、「くまもと米粉甲子園」で入賞することもでき、自分の自信につながりました。

『株式会社リョーユーパン熊本工場』に内定が決まった時は、心から嬉しく、先生方をはじめ、家族や友人も自分のことのように喜んでくださいました。私が、内定をもらったのは、どんな時でも練習に付き合ってくださった先生方、ずっと応援してくれた友人、そして、いつでも支えてくれた家族のおかげです。本当に、ありがとうございました。



普通科3年
森 晋太郎 君

熊本県がんばる高校生表彰

熊本県がんばる高校生表彰は、学業、スポーツ、文化活動等において、他の生徒の模範となる県内高校生の表彰です。今回の表彰で、前生徒会長の森晋太郎君が受賞しました。



Rakuten
IT SCHOOL

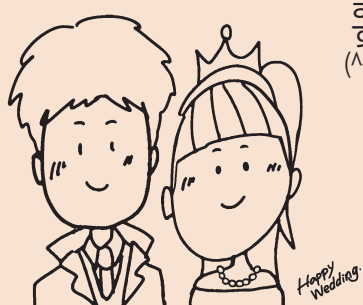
楽天 IT 学校甲子園 2015 ～チャンスをつむぐ力、チャンスに変える力～

1月15日(金)東京・虎ノ門ヒルズにて、全国から47校300名を超える高校生が集まり、1年間の楽天 IT 学校で学んだ最終成果を、普通科3年A組の植田くん、藤本くん、歌野さん、坂元さんが発表しました。生徒たちからは、「発表は緊張したけどとても良い経験をした」と語ってくれました。また、山都町の多くの方の応援や大会出場に際しましてご支援いただきありがとうございました。これからも一生懸命様々なことにチャレンジしていきたいと思います。大会の様子は、生中継で動画配信され、楽天 IT 学校のWEBページから見ることができます。

8月に矢部高校に赴任されたスチュワート先生へ山都町を訪れた感想を聞いてみました。



「週に2回、矢部高校で英語を教えています。まるで絵のように美しい山都町の景色を見ながら、車を運転してくるのが、とても楽しみです。去年の8月に来てから、多くの親切な人達に出会い、温かく接してくれています。これからもよろしくお願いします。」



YOU & YOU 活動10年の節目に、「35組目」のご夫婦が誕生しました！
一昨年の交流会に参加され出会い、交際1年を経てのゴールインとなりました！
おめでとございます！
いつも成婚された方々の、出会いから結婚までを見守らせていただきますが、事務局として、その度に温かな気持ちになり、本当に嬉しく思います。
これからはお互いを大切に想い、末永く仲良く幸せに...と願います(M)



最近の交流会の参加女性は30歳代ばかりです。参加女性の割合からすると、圧倒的に男性の30歳代の人員が少ない状況です。自分はまだ早い...という間に1歳ずつ年齢を重ねます。婚活と思わず、遊びに行く感覚で参加してみてください。
楽しい時間と参加者が待っています。お試しで、お友達と一緒に大歓迎です。ご連絡お待ちしています(M)

YOU & YOU

通信 vol. 104

祝成婚♪

★ YOU & YOU 参加者募集 ★

・問い合わせ先

YOU&YOU 事務局 (役場 山の都創造課) 山本・吉田
【専用電話】090-9565-9589
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you@docomo.ne.jp

生涯学習における努力目標

人権尊重を基盤に、学校教育と社会教育の連携・融合を促進するとともに、関係機関・団体等との連携を密にし、住民参画の視点に立った生涯学習を推進します。

- 1 社会教育関係団体等の自主的、主体的な活動の促進を図るとともに、指導者の育成に努めます。
- 2 現にある課題(人権・環境・福祉・少子高齢化・国際化・情報化・男女共同参画・自主防災等)に住民が関心を持ち、行動に移すよう努めます。
- 3 高齢者の学習機会の拡充とともに、世代間交流をはじめとした高齢者の社会参加活動の促進を図ります。
- 4 中央公民館・地区公民館を核とした、公民館支館・分館の活動を支援するとともに、家庭・地域の教育力向上を支援します。
- 5 文化団体の活動を支援し、芸術文化活動を活発化するとともに、文化財の保存並びに整備と活用を図ります。
- 6 青少年健全育成団体等の組織強化及び事業活動を支援し、良好な環境の保持と非行防止活動を推進します。
- 7 同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対する住民啓発・教育の推進体制の充実及び指導者の育成を図ります。
- 8 子どもを含めた住民が本と親しめるよう図書館機能を充実させるとともに、読書機会の普及・提供を図ります。
- 9 体育協会・スポーツ推進委員会等と連携し、社会体育の振興を推進します。
- 10 生涯にわたる学習の機会を推進するために、社会教育施設の充実及び整備を図ります。
- 11 関係機関や団体等と連携し、子育て及び家庭教育の環境の向上を支援するとともに、生涯学習支援ボランティアの育成を図ります。

※山都町教育大綱の概要等について、前号と今号の2号にわたってお知らせしましたが、教育の振興は、学校や行政のみならず家庭や地域の関わりが重要になります。全町一体となって、『山の都』のものがたりを作り上げましょう。

「山都町教育大綱」(その2)

広報やまと1月発行号(先月号)にて、「山都町教育大綱」策定の目的や、柱、各分野の役割りを掲載しましたが、今号では、「学校教育」「生涯学習」のそれぞれの努力目標を掲載します。

学校教育における努力目標

郷土を愛し、命を大切にし、自ら学び考え、夢の実現を目指す人づくりを進め、「生きる力」を育む教育を推進し、主体的に学ぶ意欲と実践力を育成します。

児童生徒の育成に当たっては、一人ひとりを大切にすることを基本に、学校、家庭、地域との連携を図り、将来を担う人材を育てます。

1 「確かな学力」の育成 【知】

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、これらを活用する力を育成します。

2 「豊かな心」の育成 【徳】

夢や希望を持ち、公共の精神を尊び、人権意識を高め、自己実現のための力を育成します。

3 「健康教育」「安全教育」の推進 【体】

健康についての知識、理解を深め、体力向上を図ります。

交通安全や犯罪被害防止等の知識を深め、危機回避能力を育成します。

4 「環境教育」「食育」の推進

学校教育活動全体を通した環境教育の推進により環境保全に主体的に行動する実践的な態度や能力を育成します。

「食育」に関する指導の充実を図り、家庭、地域等との連携のもとに、地域産業や食文化の理解及び日常での実践力を高めます。

5 保・小・中・高連携の推進

保・小・中・高の連携を深め、学びの連続性を踏まえた教育活動を推進し、自己実現力を図り将来を担う人材を育成します。

6 特別支援教育の推進

交流及び共同学習の推進を図り、教職員の専門性の向上と支援体制の確立に努めます。

3. 総合戦略

総合戦略については、人口減少が進むことで、町の経済規模や利便性への影響も少なからずあると推測されるため、山の都における真の「豊かさ」を後押しする施策の実施を目指し、4つの政策分野ごとに基本目標や事業目標等を設定しました。

●総合戦略：基本目標・数値目標
(平成27年度～31年度(5年間))

(1) 山の都の特性を活かした産業振興により雇用の場を創る

- ①持続可能な力強い農林業を支える農業生産基盤の維持・保全
- ②農林業等を担う人材の創出
- ③官民連携による農林産物の販売促進・販路拡大
- ④豊富な観光資源を活かした観光まちづくり
- ⑤仕事と生活の調和を図る(ワーク・ライフ・バランス)まちづくり

【数値目標】
◆新規雇用者数：50人

(2) 暮らしやすい山の都に、観光、移住・定住等の人の流れを創る

- ①愛郷心の醸成
- ②移住・定住に向けた環境整備
- ③町内雇用の創出
- ④観光関連事業の推進
- ⑤矢部高校支援の強化
- ⑥すべての子供たちへの教育環境の充実

【数値目標】
◆転入・転出数の差の縮小：-138

(3) 山の都での結婚・出産・子育ての希望を叶える

- ①結婚の実現
- ②妊娠・出産の実現
- ③子育て環境の整備

【数値目標】
◆合計特殊出生率：1.94を維持

(4) 山の都での健康で安心な暮らしを実現する

- ①自治振興区活動の推進
- ②健康づくりの推進
- ③暮らしの安心・安全の構築
- ④社会基盤の整備

【数値目標】
◆住みやすい・住み続けたいと感じる住民の割合：現況値より高
(第2次山都町総合計画町民アンケート調査結果)

●総合戦略：主な事業目標(施策目標：本編から抜粋)
(平成27年度～31年度(5年間))

施策1-② 集落営農推進事業

- ・地域の将来像を地域で考え、農地保全、地域の環境保全及び担い手の育成を図る集落営農の推進

施策1-④ 有害鳥獣対策事業

- ・農業における就業意欲の向上等に資するため、有害鳥獣基礎(捕獲対策強化)調査により、今後の抜本的な対策事業を実施

施策3-① 特産品開発販路支援事業

- ・特産品開発と販路支援を行うことにより町内事業者の経営力向上と観光産業の振興を図る。

施策3-⑤ 木質バイオマス活用事業

- ・資源の循環を促すとともに効率的な利用を進め、環境負荷を小さくしながら林業等の活性化を図る。

施策4-① 山の都コンシェルジュ育成事業

- ・観光業従事者の観光案内知識のスキルアップを図り、観光案内の充実によるおもてなし効果を促進する。

施策1-① 山の都知名度アップ対策事業

- ・「山の都」の知名度の向上により地域ブランドの確立を図り、地域産品の付加価値を高め販路拡大と町出身者のふるさと意識を高め、町民等の町への愛着につなげる。

施策1-⑤ 山都塾(公設塾)による総合学習事業

- ・ふるさと学(歴史、文化等)、未来学(生き方、夢の実現等)等を通じて、自分が住む地域への愛着、幅広い分野での知識等を深め、延いては愛郷心の醸成を図る。

施策4-① 民俗文化継承事業

- ・有形無形文化財である八朔祭、火伏地蔵祭及び清和文楽等、貴重な歴史・文化の保存・継承を図る。

施策5-① 矢部高校支援事業

- ・矢部高校応援町民会議の設置

施策1-① 後継者交流促進事業

- ・結婚を希望する独身者にお互いのパートナー探しの場を提供するなど交流活動の支援を図る。

施策2-② 産婦人科診療所開設支援事業

- ・出産における不安解消のため、産婦人科の診療所開設

施策2-③ 出産支援事業

- ・妊娠後における産婦人科の遠距離受診(交通)等の支援を図る。

施策1-① サポートセンター事業

- ・地域への情報・資源提供や地域の人材育成・マネジメント・コーディネート・事務補助等の実施

施策1-③ 山の都未来創造事業

- ・地域ビジョンに基づく支援を行うことによって住民主体の多世代交流により地域づくりを図る。

施策3-① 自主防災組織の設置事業

- ・各自治振興区の組織率の向上

施策4-① 町道改良・補修事業

- ・点在する集落における生活基盤の維持のため、各地域の危険箇所等の改良・補修工事を実施する。

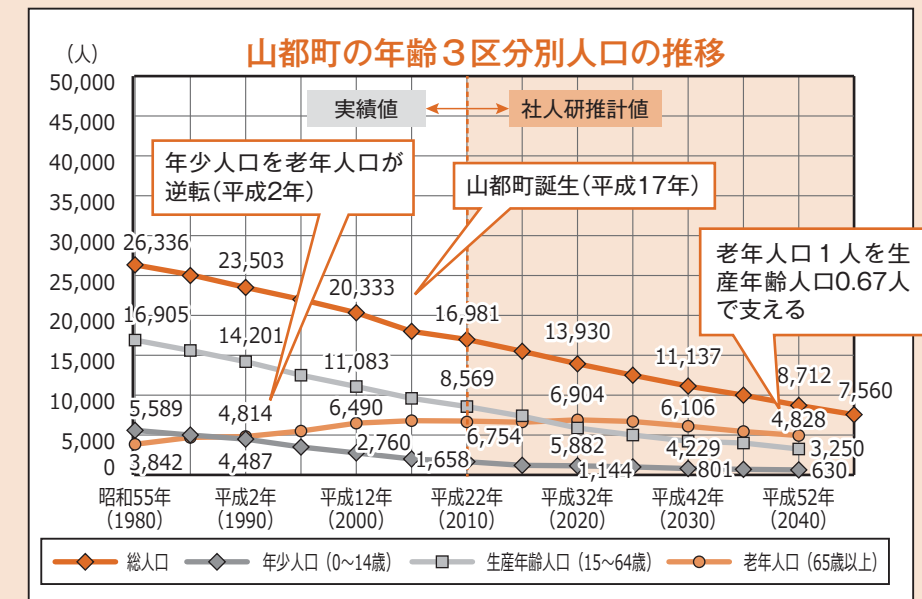
山の都人口ビジョン・山の都総合戦略【要約版】

国は、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。

これにより、本町の基本姿勢として、将来の人口目標を掲げるものの人口の増加、減少に一喜一憂することなく、住民の皆さまにとって住みよい山の都、そして、そこで感じる暮らしの豊かさの先に、それぞれの集落が維持されていくことを目指して、「山の都人口ビジョン」及び「山の都総合戦略」を策定しました。

1. 人口の現状分析

- ・国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計によると、**2040年には8,712人にまで減少すると推計。**
- ・2040年には、**老年人口1人を生産年齢人口0.67人で支えることになると推計。**



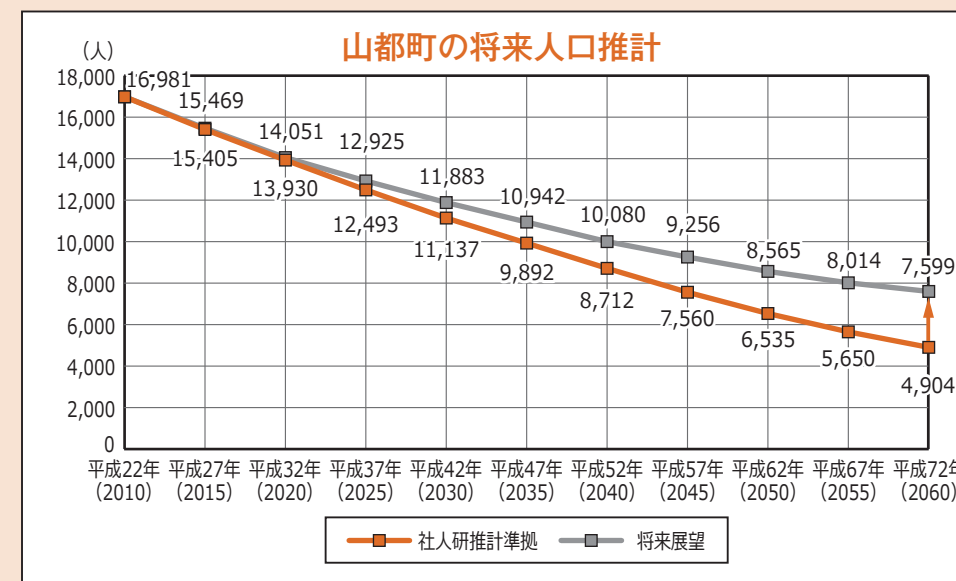
2. 人口の将来展望

- 合計特殊出生率を、**2025年まで現在の1.94**
2030年にまで2.0、2040年までに2.1
(熊本県と同じ考え)
- 2060年までの45年間に、**社会増減を1,121人改善**
(対象年齢は0～49歳とする)

●将来目標・展望

2060年の人口 7,599人

長期的には**2080年頃から7,000人程度で概ね安定**



●潜在的サポート人口について

本町の農村集落としての機能(歴史・文化継承、山林・農地等)を維持するためには、人手が足りない状況が続くと予想されます。そこで、元々転出されている家族・親戚が週末等に訪れ、地元の祭りや農作業に参加していただける地域づくりを行い、住民だけでなく本町の魅力を知る人々と良好な関係を築くことで、本町の豊かで美しい農村集落を共に維持していくことを目指します。

成人おめでとうございます



お楽しみ会



式典



恩師の先生方



浜町地区の新成人の皆さん



成人証書の授与



誓いの言葉

山都町の新成人を祝う式典が、1月4日に保健福祉センター千寿苑で開催されました。各自この日のために用意した晴れ着に身を包み、町内外から128人が出席。会場では仲間との再会に歓喜の声が絶えず、懐かしい顔を見つけては写真を撮り合う光景が見られました。

式典では、新成人代表の堀俊介さん（御所）と丸田祐実さん（柚木）に成人証書が授与されました。続く新成人による誓いの言葉では、松本崇伸さん（島木）と藤田理沙さん（長原）が「一人ひとりが社会の一員であることを自覚し、また家族や周囲の方々に感謝し、命の大切さを心に念じて一生懸命生きていきます。」と宣誓しました。

また、新成人による実行委員会で計画された第2部のお楽しみ会では、中学校時代の写真を使ったスライドショーが流れる中、学生時代お世話になった恩師たちのサプライズでの登場があり、新成人からは大きな歓声が沸きあがっていました。

清和地区の新成人の皆さん



御岳・白糸・下矢部地区の新成人の皆さん



蘇陽・五ヶ瀬地区の新成人の皆さん



中島・名連川地区の新成人の皆さん

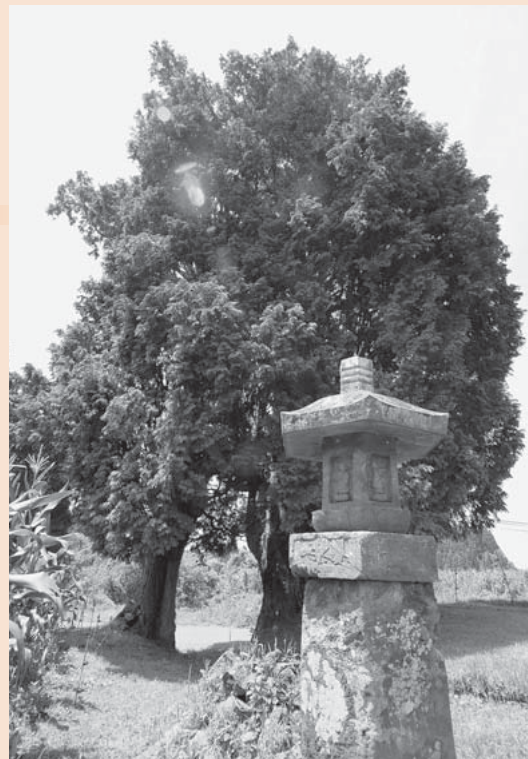


山都町の名木【第8回】 井無田六地蔵のヒノキ

〔樹高〕北側 約 21m 〔幹囲〕北側 約 4.9m 〔樹種〕ヒノキ科ヒノキ属
南側 約 15m 南側 約 3.8m
〔指定等〕なし

町指定文化財である井無田六地蔵のそばに立つ2本のヒノキは、共に大きな洞があり、内部の表面が火や落雷により炭化していますが、大きな樹勢の衰えは見られません。ヒノキの語源は、「火の木」の意味とするものが広く知られていますが、「ヒ」は太陽を表す「日」や霊威を表す「霊」とする説も存在します。実際に、古来より社寺等の大型建築に使用される例が多く、伊勢神宮の造営材としても用いられています。また先の大戦中には、狂いが少なく強靱な木製用材として、航空機にも使われていました。

このヒノキを語るうえで、そばにある町指定文化財である六地蔵石幢と飯蓋城跡を外すことはできません。六地蔵は、大永7年(1527)に飯蓋備中守と称した菅原武宜なる人物により建立されています。飯蓋城跡には、中世城郭特有の堀切などの痕跡を確認することはできませんが、かつてヒノキの立つ位置は、「城門」と称されており、その立地から屋敷地等を木柵や土塁を巡らせた囲と呼ばれる形式の構えであったことが想定されます。また六地蔵には、飯蓋備中守の上位者として「宇治」の姓を称する阿蘇氏に連なる人物の名もみえます。これらは、阿蘇氏の全盛期を創出した大宮司惟豊の時期において、地域の動向を示す貴重な歴史史料といえます。



〔参考文献〕
1978 熊本県文化財保護協会 編『熊本県の中世城跡』
1996 平井 信二『木の百科—解説編—』朝倉書店
2009 清和村史編集委員会 編『清和村史』
2010 九州ハイランド活性化協議会『山都町巨樹調査票』
注)「飯蓋」の読み方については、「いいふた」、「いぶた」または「いいぶり」とする文献もあり、特定は困難である。

頑張る“わきゃもん”～山都町の明日を担う農業者にお話を聞きました～



小田原 晋 さん
黒川
30歳 就農4年

☆小田原 昭弘 委員より一言

東京からUターンされて、ミニトマト部会など積極的に参加し頑張っておられます。宝石の原石も磨かないと光りません。地域の良き後継者となる、期待できる優秀な若者です。応援しています。

建築関係の会社に勤めていましたが、祖父が亡くなったので後を継ぎ、ミニトマトを作っています。

農業は良くも悪くも難しいですが、農業を通じて多くの人との出会いがあるのが嬉しいです。特に地域の方や部会の方には、いろいろお世話になって勉強させてもらっているの、恩返しできるように頑張って、地域貢献ができればと思っています。



梶原 哲也 さん
鶴ヶ田
30歳 就農10年

☆兼瀬 洋一 委員より一言

両親と一緒に、大根農家として頑張っておられる後継者です。農業だけでなく、消防団活動なども積極的で、地域の中心となって活躍されています。

主に家族経営で、農繁期にはパートさんを雇いながら大根、シイタケ、米を育てています。

就農して10年程になりますが、まだまだ未熟者です。毎年いろんな課題や改善点が出てくるので、これからも日々勉強とチャレンジの気持ちで、頑張りたいと思います。

地域のおじいちゃん、 おばあちゃんに 認められたい

10月10日～11日にかけて、DENGKEIという若手演劇NO.1を決めるイベントが熊本市の早川倉庫で行われた。

この大会は、「自分は若手だ!」という人・団体なら誰でも参加でき、県内外の10チームが集結し演劇を競い合うもので、大会の頂点に立ったのは山都町を拠点に活動している「劇団 天然木」。

今回、劇団天然木に所属され、優勝者でもある久枝しずくさん、りんかさん姉妹に取材させてもらうことにした。

「劇団天然木」は久枝さんの家族を中心に総勢7人で、父が舞台美術、母が音楽、姉のしずくさんが振り付け、妹のりんかさんが脚本と役割分担をし、まだ小学生の弟2人も演技にダンスと町内外のイベント等で活躍されている。

2人とも4歳の頃から演劇を始められ、「妹が4歳の時、お昼ご飯を食べ過ぎて、本番中に舞台上で寝ちゃったことがあって、それからは弟たちが寝た時バージョンの台本ができました。」としずくさん。「出演するイベントや大会に合わせて台本をつくっています。練習中のアドリブも生かしながら、本番ギリギリまで台本が変わります。」とりんかさん。家族劇団ならではのエピソードを笑顔で紹介してくれた。

今後の目標などを聞くと「地域のおじいちゃんおばあちゃんはとても芸達者な方が多く、その方々に認めてもらえることが目標。今後は、町内の小中学校でも公演していきたい。山都町を中心に活動していくことが私たちなりの地域おこしになれば。」と2人は目を輝かせ語った。



優勝の盾を手にするりんかさん(左)、しずくさん(右)

優勝時の演劇

演題:「どけいくな」

脚本:久枝りんか

出演:久枝しずく、りんか

内容:タマコは15年ぶりに田舎のおばあちゃんの家に来てきた。相変わらずへんくつでわけの分からないおばあちゃん。

でも、一つだけ、前と違うところがあった…。

優しい夏の思い出に包まれながら祖母から孫へ生命のバトンが受け渡される。

山都町での公演

日 時:2月27日(土)

午後2時開演(午後1時半開場)

場 所:中尾児童館 1F(浜町30-1)

演 目:「どけいくな」、

「落語ミュージカル死神」

※入場料は無料(投げ銭大歓迎!)

問い合わせ先:83-0622(天然木)

イベントでの公演依頼等は問い合わせ先まで



みんなで歩こう 日向往還歴史ウォーク

3月19日(土)・20日(日)

山都を彩る春の花がみなさんを待っています。5つのコースから自分の健脚度にあったコースを選んで散策。美しい自然の中で爽やかな汗を流し、心も体もリフレッシュしましょう！

～第11回 日向往還歴史ウォーク in 山都町 5つのコース～

◇2016年3月19日(土)◇

めざせ通潤橋コース 約20 km (約5時間半) 定員300名(先着順) 健脚度 ★★★★★

大人2,500円 小学生以下2,000円

コース： 鼎春園(御船町)⇒八勢目鑑橋⇒金内橋⇒通潤橋

[集合・出発場所] 通潤橋(道の駅通潤橋) [受付] 7:20から8:20まで

[シャトルバス出発] 受付後順次(最終 8:30) [現地スタート] 9:30

☆通潤橋前で受付後、シャトルバスにてスタート地点へ移動 解散時刻 16:30 (※当日申込不可)

浜町周遊コース 約3 km (約2時間) 定員50名(先着順) 健脚度 ★☆☆☆☆

大人2,000円 小学生以下1,500円(当日申込同額)

[集合・出発場所] 通潤橋(道の駅通潤橋) [受付] 8:30から9:10まで [現地スタート] 9:30

阿蘇家散策コース 約4 km (約2時間) 定員50名(先着順) 健脚度 ★☆☆☆☆

大人2,000円 小学生以下1,500円(当日申込同額)

[集合・出発場所] 通潤橋(道の駅通潤橋) [受付] 8:30から9:10まで [現地スタート] 9:30

◇2016年3月20日(日)◇

めざせ馬見原コース 約23 km (約6時間半) 定員400名(先着順) 健脚度 ★★★★★

大人2,500円 小学生以下2,000円

コース： 通潤橋⇒小峰⇒幣立神宮⇒馬見原

[集合・出発場所] 通潤橋(道の駅通潤橋) [受付] 8:00から8:40まで [現地スタート] 9:00

☆馬見原に到着後、シャトルバスにて移動。シャトルバス運行時間12:30より順次 解散時刻 16:30 (※当日申込不可)

馬見原ご利益巡りコース 約3 km (約2時間) 定員200名(先着順) 健脚度 ★★☆☆☆

大人2,000円 小学生以下1,500円

[集合・出発場所] 馬見原交流広場 [受付] 8:30から9:10まで [現地スタート] 10:00 (※当日申込不可)

申込方法

直接申込	申込書と参加料を直接申し込み先に持参してください。
郵便振替による申込	パンフレットに付属の払込取扱票(参加申込書)に必要事項を記入の上、最寄りの郵便局で参加料を振り込んでください。

※パンフレットは各道の駅、本庁及び各総合支所に配布しています。

申込期限 **3月11日(金)まで**

3月21日は宮崎県五ヶ瀬町で「日向往還山頭火ウォーク」が開催されます。

詳しくは五ヶ瀬町企画課(Tel 0982-82-1717)までご連絡ください。

問い合わせ先・申し込み先

日向往還歴史ウォーク実行委員会【山都町観光協会内(道の駅通潤橋)】
山都町下市182-2 電話 0967-72-3855 FAX 0967-72-3853 HP <http://yamato-tour.org>

山都町出身選手が都大路を疾走！ ～女子第27回全国高校駅伝大会～



中川京香さん(左)、枝尾祐希さん(右)

女子第27回全国高校駅伝大会結果

順位	タイム	チーム	県
1位	1:07:37	世羅	広島
2位	1:07:46	常磐	群馬
3位	1:08:10	薫英女学院	大阪
4位	1:08:42	須磨学園	近畿
5位	1:08:51	西脇工	兵庫
6位	1:09:14	興譲館	岡山
7位	1:09:16	山田	高知
8位	1:09:24	北九州市立	北九州
9位	1:09:31	市船橋	千葉
10位	1:09:31	豊川	東海
21位	1:10:20	熊本信愛	熊本

平成27年12月20日に京都市西京極陸上競技場をスタートとした「女子第27回全国高校駅伝大会」が開催され、熊本県代表の熊本信愛女学院高等学校より3年生の中川京香さん(矢部出身)と1年生の枝尾祐希さん(清和出身)が出場され、総合成績は21位でした。中川京香さんは1区を、枝尾祐希さんは2区を力走し、山都町出身選手によるたすき渡しも行われました。チームに大きく貢献された、お二人の更なるご活躍を期待いたします。

熊本県農林水産業 功労者表彰



昨年12月に熊本県農林水産業功労者表彰があり、山都町から山口やよいさん(菅尾)が受賞されました。山口さんは、昭和44年からご主人と酪農を始められ、平成16年から平成19年まで熊本県酪農女性部協議会会長を務められました。会長就任後は、牛乳の消費拡大を図るため、自ら地域に向いて牛乳豆腐作りの講習会や消費者との交流会を実践され、第1回食育推進県民大会にも参加し、食生活改善推進協議会と連携しながら牛乳豆腐の普及推進に尽くされました。

また飲料牛乳に対する消費者の理解を深めるとともに、県内産牛乳の消費拡大運動に取り組み、平成17年には「父の日に牛乳を送ろう!キャンペーン」を始め、首相に牛乳を贈呈されるなど、県産牛乳のPRに大きく貢献。平成23年にはさらなる牛乳の消費拡大を目指し、NPO法人「スローライフミルクネット」を設立。家庭で簡単にできる手作りチーズの講習会などを開催しながら、熊本県内にとどまらず九州内外で活動されています。

このような長年に亘る県内酪農の振興・発展への貢献が認められ今回の受賞となりました。